

The 5th anniversary



1_平成17年10月11日牧之原市誕生 2_初登庁する西原茂樹市長 3_市民による合併記念第九を歌う会 4_牧之原市として初めて参加した静岡県市町村対抗駅伝大会 5_さから子生れ温泉会館がオープン。開館に長蛇の列

平成17年度

2005.10.11~2006.03.31

■人口 51,017人
 男性 25,098人 女性 25,919人
 ■世帯数 14,992世帯
 (平成17年10月末日現在)

10月11日、相良町と榛原町が合併して「牧之原市」が誕生しました。牧之原市に住む住民一人一人が、それぞれの価値観に応じた「しあわせ」を実現できる「幸福実現都市」を目指し、市民協働によるまちづくりがスタートしたのです。
 この年、市民協働の小さな芽が開きました。
 新市誕生記念コンサートが市民主体で開催。合併前から合唱者(有志150人)を募り、4月から練習を重ねました。10月16日、総数約1400人の観客の前でベートベン作曲「交響曲第九番」が合唱されました。

平成22年10月11日
 牧之原市は
 誕生5周年を迎えました

わたしたちも5歳になりました。

波津区在住の藤巻友里ちゃん(左)と里緒ちゃん(右)の双子姉妹は、牧之原市が誕生したその日に産声をあげました。5歳となった今では、幼稚園に通い、毎日元気に友だちと遊んでいます。



軌跡
 | 牧之原市誕生5周年



平成18年度

2006.04.01~2007.03.31

■人口 50,770人
 男性 24,968人 女性 25,802人
 ■世帯数 15,200世帯
 (平成18年10月末日現在)

「マ」の文字と駿河湾・牧之原台地などの地勢、そして茶の葉をモチーフにした市章が定められました。
 本市の基幹産業であるお茶の生産などといった関係者が、安全・安心な取り組みを宣言しました。
 5月には、「市民力」を生かした協働のまちづくりを進めようと、さまざまな問題解決を利害関係者で話し合う「フォーラムまきのほら」が立ち上がりました。このフォーラムの海岸環境グループでは、砂浜を取り戻す砂利浜化対策をするなど、確実な成果を上げています。



6_公募により市章が決定 7_お茶の安心で安全な取り組みを宣言 8_合併1周年記念式典 9_市内での交流と連携を図るために、初めて「新春初顔合わせ会」を開催 10_開催50回目を迎えた田沼意次牧之原市マラソン大会

これからも夢と希望を持って
 牧之原市が誕生して5年が経ちました。「ふれあい ビタミン あいのまち」を掲げ、市民と「幸福実現都市」の実現に向かって歩んできました。
 誕生時には世界的な好景気の中で、スズキ株式会社相良工場への四輪車組立工場新設が決まり、自動車産業とお茶を中心とした農業の振興を合わせた「農工両善」の施策で、市の発展を目指してきました。
 昨年、永年の悲願であった富士山静岡空港が開港し、さまざまな課題を抱えながらも、県や関係者の尽力で運営2年目に入りました。今日まで、駿河湾を震源地とする地震や榛原総合病院の存続危機など、市にとって大きな苦難もありましたが、市民の努力と協力によって、ここに市政施行5周年を迎えることができました。
 本年度、御前崎港と東名高速道路相良牧之原インターチェンジ、富士山静岡空港を結ぶ高規格道路が完成し、インフラも整います。確かな社会基盤と豊かな文化や伝統を生かして、夢と希望を持ちながら、これからも進んでいきましょう。



牧之原市長 西原 茂樹